



たきばな

一般社団法人
日本ボーイスカウト
静岡県連盟
〒420-0068
静岡市葵区田町1丁目70-1
(静岡県青少年会館内)



令和5年度 ボーイスカウト静岡県連盟定型外訓練 ロープワークとことんマスター(7頁)



掛川第2団 ビーバー隊 緑の募金(10頁)



(株)TurnX 代表取締役
酒井 優一 氏(8頁)



伊豆地区 地区ラリー(6頁)

CONTENTS

年頭のご挨拶.....2	浜松地区定型外訓練 UTA♪KEN.....10
静岡県連盟 連盟長 川勝 平太 氏	第13回 若き指導者.....11
静岡県連盟 理事長 小林 透 氏	ビーバーだより、カブつうしん.....12
JOTAの日、JOTIとは?.....4	ボーイ通信、指導者だより.....13
イーグルスカウト ジョン・スパー君.....5	「友情章」おめでとう19名の仲間.....14
コミッショナー研究集会.....6	維持会員名簿.....15
今年も楽しかった「伊豆地区 地区ラリー」.....6	マスコミコーナー.....15
ロープワークとことんマスター.....7	お知らせコーナー.....16
第1回 Junkoの人物訪問.....8	
(株)TurnX 代表取締役 酒井 優一 氏	
緑の募金.....10	



年頭所感

一般社団法人
日本ボーイスカウト静岡県連盟 連盟長

川 勝 平 太

明けましておめでとうございます。

日本ボーイスカウト静岡県連盟の皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年は、韓国で4年に1度の祭典「第25回世界スカウトジャンボリー」が開催されました。今回は、世界各国から約4万人以上のスカウトたちが集結し、本県からは約80人のスカウトと指導者の皆様に参加されたと伺っています。言葉の壁を超え他国のスカウトたちと交流し、互いに支え合って過ごした12日間の経験は、自分自身を更に大きく成長させる機会となったことでしょう。

準備に御尽力いただいた関係の皆様改めて感謝申し上げますとともに、この経験が今後の皆様の活動に生かされますことを期待しております。

また本年は、延期されていた「第13回日本アグーナリー」が福島県で、そして「第3回ボーイスカウト東海4県連盟合同野営大会」が岐阜県で、8年ぶりに開催されます。コロナ禍を経て、皆様がこれまで培ってきた経験や知識が、大きく実を結ぶ大会となることを願っております。

本県は、「美しい“ふじのくに”」の未来を担う「有徳の人」の育成に向け、自らの個性に応じて「才」を磨き、自他を大切にしながら「徳」を積み、よりよい社会づくりに参画し行動する、「才徳兼備」の人づくりを進めております。静岡県連盟の活動を通じて、本県の青少年健全育成の取組推進に一層のお力添えを賜りますよう、お願い申し上げます。

結びに、皆様の御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げ、年頭の挨拶といたします。



年頭所感

一般社団法人
日本ボーイスカウト静岡県連盟 理事長

小林 透

新年おめでとうございます。

よき新春をお迎えのことと、お喜び申し上げます。

昨年は、「第25回世界スカウトジャンボリー」が韓国セマングムで開催されました。参加された皆様は、世界中の仲間と交流することができ、スカウト活動に関わっていないとできない、まさに「一か所で世界一周」を体験できたことは、スカウトたちにとって、これから生きていくためのコンパスになると期待しております。

さてボーイスカウト日本連盟では、「新たな100年に向けての挑戦—地域と共に歩み、社会課題の解決に貢献するスカウティングを目指して」を発刊し、各団にも届いているかと存じます。

目指すところを一言でいえば、青少年に「幸福な人生を歩んでもらう」ことにあります。この運動に関わる全ての人が、必ず幸福な人生を歩み、この運動に関わる人が増えれば必ず世界はより良くなるという思いを共有することが大切であります。

「幸福な人生を歩む」方法は、創始者ベーデンパウエルが「最後のメッセージ」として残しております。読まれた方も、初めて知ったという方も、今一度、お読みいただきたいと思えます。

本年は、「東海4県連盟合同野営大会」がベンチャースカウト大会としてリニューアルし、岐阜県高山市で開催します。ベンチャースカウトならではのプログラムが体験できますので、多くのベンチャースカウト、そして大会を支援する指導者・ローバースカウトの参加をお待ちしております。

静岡県連盟は、皆様とともにあります。本年も、幸福に満ちた1年となりますよう、お祈り申し上げます。

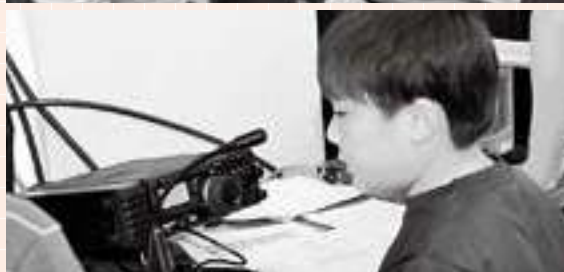
JOTAの日

交信体験をしましょう♪

令和5年10月21日(土)、22日(日)

JOTA-JOTI(ジャンボリー・オン・ジ・エア～ジャンボリー・オン・ジ・インターネット)は、世界スカウト機構(WOSM)が主催する公式国際行事で、スカウトや指導者がアマチュア無線やインターネットを通じて、国内各地や外国のスカウト仲間と交信し、お互いを理解し、知識と友情を深めることを目的とする、世界最大級のデジタルスカウトイベントです。この日はアマチュア無線機を使ってまだ交流のない仲間と繋がります。無線機がなくても大丈夫!優しく楽しく教えてもらいながら体験しました。

見学者の静岡第22団カブ隊の松井謙諮さんが初めてアマチュア無線を体験し、「初めての交信に緊張しました。いろいろな人と話すことが出来て楽しかったです」と語りました。



◎静岡第22団 カブ隊の松井謙諮さん



JOTIとは?

(ジャンボリー・オン・ジ・インターネット)

世界スカウト機構が主催して行われる、比較的新しい、世界のスカウトの公式国際行事です。この「JOTI」は無線の代わりに、インターネットを利用して、JOTAと同じく情報を交換して友好を深めようとするものです。近年では、インターネットチャットの他、FacebookやtwitterといったSNSでのつながりを活用したイベントや、Minecraftというゲームの仮想空間を使ったプログラムも登場して、盛り上がりを見せています。



JOTIで進行役を務めたイーグルスカウトのジョン君



国際専門委員長 大山正晃

今回JOTIのオンライン集会にはアメリカ、オーストラリア、シンガポール、台湾など各国から約100名、県連盟から約50名のスカウトが参加しました。オンラインのネット運営ではアメリカ連盟のJohn Sber君が司会進行役を務めてくれました。彼はEagle Scoutのローバーで日本に留学中です。Eagle Scoutとはアメリカ連盟の最高ランクのスカウトで日本の富士スカウトに相当します。アメリカNASAのApollo計画では月面に降り立った宇宙飛行士の殆どがEagle Scoutであったと言われていました。John君もScout spiritを発揮して突然の依頼を引き受けて2日間にわたりネット運営に積極的奉仕をしてくれました。県連盟のカブからは「どうしたら、イーグルスカウトになれますか?」などの質問も寄せられ解りやすく説明してくれました。

そのJohn君からJOTIに参加しての感想文が届きましたので邦訳を添えて皆様にご披露します。

私の名前はジョン・スバーです。米国ワシントン州バンクーバー出身のスカウトです。私は6歳からスカウトとして、そして現在はローバースカウトとしてスカウティングに参加してきました。キャンプ活動でチームワークを学び、指導的立場で重要なコミュニケーションスキルを身につけて、今の私の成長に役立ちました。2023年の8月から12月まで、私は日本の京都でコンピューターサイエンスの学位を取得するために留学していましたが、米国でのつながりを通じて静岡県連盟のJOTIに参加し皆さんにお会いすることができて光栄でした。

スカウティングは私の人生の大きな部分を占めており、外国でスカウティングについて学ぶ機会を得たことは素晴らしいことであると思います。今回、静岡県連盟国際専門委員会の皆さんが企画したアメリカ、オーストラリア、シンガポール、台湾など、世界のスカウトとのJOTIに参加することができました。静岡県がどのような県なのか、どのようなスカウト運動があるのかについてプレゼンテーションが行われ、日本のスカウティングプログラムがどのように実施されているのかについて、いろいろな質問への意見が交換されました。

この経験で私が注目したのは、静岡県連盟のスカウトたちのホスピタリティです。彼らが英語で自己紹介をし、JOTIプログラムの運営に意欲的に取り組んでいることに感動しました。皆さんは寛大なホストで、そこにいたスカウト全員がそこに参加することを楽しんでいました。今後このようなプログラムがさらに開催されると、国際的なスカウティングの成長に実りがあることが証明されると私は信じています。さらに、スカウト運動の世界観と、この世界での自分の位置付けについての理解を広げるのにも役立ちます。静岡県連盟の皆さんがこのような種を蒔いてくださったことにとても感謝しており、将来的にはこれがより大きな文化交流プログラムに成長することを願っています。言葉の壁は対面での会議を妨げる大きな要因となりますが、オンライン開催での活動や交流は良いスタートとなります。このプログラムが発展するのを見るのがとても楽しみですし、このような親切的スカウトコミュニティに出会えたことを幸せに感じています。

ジョン・スバー

今年も楽しかった 伊豆地区 地区ラリー

10月22日(日)伊豆の国市「さつきヶ丘公園運動競技場」で地区ラリーが繰り広げられました。伊豆各地から全9個団約340人が集まり、ラリーを楽しみながら交流を図りました。ビーバー隊はチョコレート玉入れと国旗のパズル合わせ、カブ隊はロープを使用した競技と国名を発表してその国旗を探す国旗かるた、ボーイ隊は角材切りと班旗立て、ベンチャー隊はパイオニアリングに挑みました。最後は団対抗ラリーで白熱したレースが展開されました。



コミッショナー研究集会を開催しました。



県コミッショナー 澤田浩久

コミッショナーの資質向上を目的として県内の各コミッショナーが一堂に会し、担当している役割別に「青少年の参画」について研究を行うコミッショナー研究集会を10月21日に実施しました。

コミッショナーは創始者ベーデン＝パウエルの代理として、スカウト運動が正しく展開されているか、そしてそれぞれの団がより発展するように、指導者の皆様に指導、助言をする大切な役割を担っています。

ですので指導者の皆様、日頃のプログラム展開においてわからないこと、困っていることがありましたら、ぜひ身近なコミッショナーを頼りにしてください。親身になって相談に応じ、解決のヒントを提供してくれることでしょう。

また、日頃の活動の状況の把握や、日本連盟から提供される情報の伝達等、コミッショナーからは様々な連絡やお願いがあると思います。面倒と思われることでも「コミッショナーが言うことなら」と前向きに協力いただくと大変助かります。

令和5年度 県連定型外訓練報告 ロープワークとことんマスター

ディレクター **渡邊 聡**

11月25日～26日に県連定型外訓練が、国立中央青少年交流の家で開催されました。

今回の定型外訓練は、指導者が1級スカウト程度のロープワークを分かりやすく指導できるスキルを習得することにより、自分自身の成長とスカウト一人ひとりの成長に寄与する活動が実施できるようになることを目的として開催致しました。

特別講師として東京連盟の小暮幹雄様に来静頂き、自分たちのロープワークのスキルを復習しながら、わかりやすく指導する方法を楽しくご教授いただきました。



📍特別講師の小暮幹雄様



普段からロープワークに接しているBS、VS指導者のみならず、BVS、CSの指導者の皆様にも分かり易く、それに加えてロープを使ったゲームや班分けの方法等、たくさんのお土産をお持ち帰ることが出来ました。

今回参加の指導者の皆様には、自身のスキルアップに満足することなく、スカウトに分かり易く指導でき、これからも楽しいスカウティングが実践出来る様に自己研鑽を続けて頂きたいと思います。

指導者の皆様には、定型外訓練として取り上げて欲しいテーマがありましたら、是非トレーニングチームにリクエストいただけます様にお願い致します。

総務広報委員長の南條順子が各界に幅広く聞くコーナー

Junkoの人物訪問 第1回

今回は「静岡県への移住転職を支援する会社を起業した
(株) TurnX(ターンエックス)代表取締役 酒井優一氏」をお訪ねしました。

南條: 先ずは自己紹介をお願い致します。

酒井: 静岡県静岡市出身です。静岡県立静岡高等学校を卒業後、大学入学と共に上京し、都内で社会人生活を過ごしてきましたが、今年約19年ぶりに静岡に家族とともにUターン移住し、故郷へ戻って来ました。また一昨年起業し、現在は『静岡特化型移住転職エージェント』として、静岡への移住を希望される方に特化した転職支援/移住支援を事業として展開しております。

南條: 静岡県内への就職、転職の現状をどうぞ覧になっておりますか?

酒井: 静岡県は移住希望地としては3年連続で全国No.1ですが、良い仕事が見つからない、都内に比べると仕事内容や年収面で劣るといった理由で、まだまだ転出者のほうが多く、人口減少が続いている状況です。様々な課題がありますが、魅力的な企業、魅力的な求人をも増やし、静岡の転職市場をより活性化させていきたいと考えています。

南條: 起業された目的は?

酒井: まずは現在の事業である静岡特化型移住転



(株) TurnX代表取締役 酒井優一

職エージェントとして、一人でも多くの移住転職実績をつくっていくことが目標です。

南條: ご自身のボーイスカウト経験と感想をお話し下さい。

酒井: 静岡46団に所属し、カブスカウトでは海野登光隊長にお世話になりました。特にキャンプや登山での思い出は忘れられません。今振り返ってボーイスカウトに参加して良かったなと思うことは、ボーイスカウトに入ることで普段ふれあうこ



総務広報委員長 南條順子

との無い学区外の友達を通じ同世代の繋がりが増え、そしてボーイスカウトに参加していなかったら普段触れ合うことの無い大人との繋がりが増えたことは自分にとって財産だと思っています。

南條: 今後ボーイスカウト活動に期待するもの何でしょうか。

酒井: 静岡は海、山、川に囲まれ、自然が多くアウトドア、ボーイスカウト活動にはとても良い場所だと思っています。私自身も幼少期にボーイスカウト活動を通して、静岡の自然とたくさん触れました。そういった「原体験」があると、大人になっても自然の多い静岡で暮らしたい。子どもたちにも静岡で同じような経験をさせてあげたいと思うものです。だからこそ、今後もより多くの子ども達がボーイスカウト活動を通して、静岡の自然に触れ合う機会が増やせると思っていますし、様々なチャレンジができるボーイスカウトに入隊する子ども達が増えれば良いなと思っています。

南條: 最後に熱いメッセージをお願い致します。

酒井: ボーイスカウト活動で大人との接点が生まれます。まさに子ども達が伸びる機会が生まれます。自立心を得、『そなえよつねに』の精神は今の仕事でも生きていると思えます。その時の経験があったからこそ、自分自身何をやるにしてもリスクに備えて万全な準備を忘れません。まさに今の会社経営に直結しております。私自身静岡が好きで、静岡の印象・人間関係が大好きで静岡をもっともっと盛り上げたいと思っています。ボーイスカウト活動終了後も静岡を好きなスカウトは多いと思います。自然と向き合い、原体験があるからこそ静岡愛が生まれてくると思います。現在ボーイスカウトの人数は少なくなっております。少子化の中でも更にボーイスカウト活動が盛んになり、その子ども達が大人になった時、如何に静岡に定住してもらえるか、あるいは戻ってもらえるか、そういうサイクルを作るお手伝いをしていきたいと思っています。引き続きボーイスカウト活動に期待しております。

南條: 本日はお忙しい中、有り難うございました。



緑の募金

掛川第2団 ビーバー隊 隊長 橋本美加子

「今日は大きな声を出す集会だよ隊長より大きな声が出せるかな?」そんなあいさつから始まった隊集会。去る10月15日(日)、掛川第2団ビーバー隊は道の駅掛川で緑の募金活動を行いました。

大きな楠の木のある事任八幡宮にお参りした後、募金活動を行う道の駅までハイキング。そしていよいよ募金活動。初めてのことでドキドキしていたスカウト



もおりました。「緑の募金お願いしま〜す!」の大きな声に買い物に来たおじさん、おばさん、おじいちゃんにおばあちゃん、友達と遊びに来た小学生の3人組。車椅子の方も…。いろいろな人が募金をしてくれ、直ぐにニコニコ笑顔に。ドキドキしたけれど、人前で大きな声を出す経験、ありがとうと言ってもらえる嬉しさを経験することができました。

スカウトソング研究会

浜松地区定型外訓練 UTA♪KEN

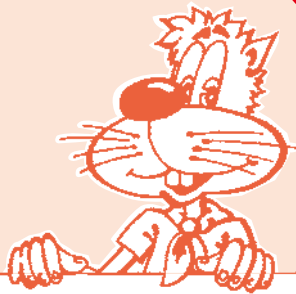
歌って! 踊って! いつも元気

地区コミッショナー 平野 浩司

12月3日(日)、浜松市立青少年の家にて『スカウトソング研究会』が行われました。これはスカウトソング等を歌うことを通して楽しさや喜びを体験し、またプログラムの中に歌を導入する重要性を理解し、スカウト活動に幅を持たせるため、様々な場面に応じて歌を活用する方法を学ぶことを目的に開催されました。合唱指導はビーバー・カブ歌集の歌を中心にクリスマスソング、アクションソングなど身振り手振りを交えて楽しく学びました。



第13回「若き指導者」



伊豆地区 三島第5団
ボーイ隊 副長
佐野 麻美



ボーイ隊副長2年目、絶賛勉強中です。見るもの聞くものすべてが新鮮で、この歳になって、こんなにも知的好奇心を刺激されるとは！何かを始めるのに遅すぎることなんか無いって、ほんとだなあ。

活動をしていて気づいたことは、街頭募金や隊集会で遠征した時などに、声をかけてくれる人が多いということです。「自分も昔やっていた」とか「指導者だった」はもちろん、「がんばってるね」や「女の子もできるようになったのね」という声も、『ボーイスカウト』というものは、こんなにも周知されているのかと驚きました。

様々な活動を通して、スカウトたちは何を感じ、何に興味を持っていくのでしょうか。普段できないような経験が、彼らを成長させ、視野を広げ、きっと人生を豊かなものにしてくれると思います。どんな大人に育つのかな。その成長を、いつまで見ていられるのだろうか、楽しみは尽きません。

活動のたびに成長するスカウトたち。その成長の瞬間に立ち会える喜びと、成長の一端を担う責任を心に刻みながら、これからも指導者生活を楽しみたいと思います。ボーイ隊副長2年目、今はまだ力不足！良い指導ができるよう、そして今度は私がスカウトの知的好奇心を刺激できるよう、彼らに負けなくらい成長していきたいと思います。





いつも元気だっ!
ビーバーだよ!

団キャンプのおもいで

御殿場・小山地区 御殿場第2団 ビーバー隊 川村 悠人

ぼくたちは、9月に乙女森林公園キャンプ場でカブ隊やボーイ隊といっしょに団キャンプをしました。ボーイ隊のおにいさんたちは1人ずつテントにとまるので、中をけんがくさせてもらいました。夕ごはんは、カレーとカブ隊長が焼いてくれた大きなかたまりのお肉が出て、とてもおいしかったです。とちゅうで雨がふっていたけど、ビーバー隊に入っちはじめてのキャンプファイヤーをみんなでできて、とても楽しかったです。



カブつうしん
CUB SCOUT

ドキドキスタンプ

静岡地区 静岡第27団 カブ隊 齊藤 壮真

僕が一番思い出に残っていることは、夏キャンプのキャンプファイヤーで行ったスタンプです。



スタンプでは、“海辺にゴミを捨てている人を注意して、これからはしっかりゴミ箱に入れるように約束させる”という物語を劇にしました。

僕は、ゴミを捨てている人を注意する役でしたが、セリフが長かったので間違えないか心配でした。しっかり覚えるために何度も練習し、本番直前まで復習しました。

本番では、はじめてのキャンプファイヤーだったことや、たくさんの人に見られてきんちょうし、少し間違えてしまいましたが、はっきり大きな声で言えました。失敗したことはくやしかったけれど、みんなの前で最後までやりきれたことは自信になりました。

今回、スタンプでやる内容は黄組のくまスカウトが考えてくれました。今度のスタンプでは年下のスカウトが入ってくるので、僕もしかスカウトとして意見をしっかり出して、他のスカウトと協力しながら一緒に作り上げていきたいです。



沼駿地区 第1回ビーバーカブフェスティバル



長泉第2団CS隊 反田朝陽

どれも楽しかったです。わくわくして楽しめました。チラシのカニをお土産にもらって帰りました。

長泉第2団BVS隊 一杉光月

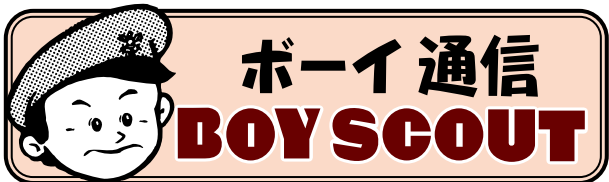
モンキーブリッジと大根鉄砲が楽しかったです。モンキーブリッジはぐらぐらゆれて、最後まで行けるか不安でした。でも、慎重にゆっくり渡ったらちゃんとわたれました。大根鉄砲は、一気に2個倒れたので、びっくりしました。また遊びたいです。

沼津第19団CS隊 安形直樹

色んな学びがあって、魚釣りや大根鉄砲などあって楽しかった。みんなで昼食を食べたあとも、人の顔アートなど書いたり散歩したりして楽しかった。

沼津第19団CS隊 森下景仁

魚釣りをしたり、自然の物を使って顔を作ったりして楽しかったです。他の団員の友達と一緒に活動できたのも良かったです。



夜間ハイキング

磐田地区 磐田第3団 ボーイ隊 兼子 拓哉

僕たちボーイスカウト磐田第3団は10/14.15日に湖西連峰での夜間ハイキングに挑戦しました。大粒の雨が降る中、僕たちは合羽を着て、険しい山道を歩きました。僕たちは湖西連峰の大自然と向き合いながら、大自然の美しさに感銘を受け、この未知の体験を楽しむことができました。残念ながら大雨のためこれ以上進むのは危険だと判断し、途中で下山することになりましたが、夜間の森林を探索したことで、僕たちは新たな視点を発見し、隊の絆を深めました。下山を終えた後、僕たちは最寄りの天竜浜名湖鉄道の駅でラーメンを食べました。そのラーメンは、寒くて湿った夜に僕たちに温かく、満足感を与えてくれました。今でもそのおいしいラーメンの味と、夜間ハイキングの冒険の楽しさを思い出すと、心が温かくなります。夜間ハイキングは、大自然との素晴らしい出会いと、友人との素晴らしい冒険をもたらしてくれるものであり、僕にとって一生忘れられない思い出となりました。



地区の合同野営で楽しかったこと、大変だったこと

清水地区 清水第7団 ボーイ隊 垣内孝太郎

僕は9月16日～18日まで富士宮市で地区の合同野営に参加しました。先ず参加して楽しかったことは2日目の座標ハイクのときのニジマス釣り、みんなで手分けして薪を割ったりご飯を作ることが楽しかったです。ニジマス釣りのときは夕食のことを考えて8匹釣ることになっていました。場所はみんな釣ることに苦戦していましたが、後からコツを覚えて時間をかけてしまいました、8匹釣ることが出来ました。

そして夕食を作るときに特に楽しかったのは、釣ったニジマスをホイル焼きにして調理したことです。アルミの上にパプリカ、ニンジン、キャベツ等の野菜を入れ、その上にニジマスを乗せて包み、薪で火の付いたバーベキューコンロで焼きました。食べてみて思った



ことは、とてもニジマスと野菜が美味しく感じ、小さな命を頂くことにも実感しました。

そして大変だったことは、座標ハイクで最後ニジマス釣り場から田貫湖まで時間内に歩くことが正直最初は大変だと感じていました。休憩を入れながらハイペースで歩き、そして田貫湖まで時間内に歩き終わったとき凄く達成感を感じました。また今回の合同野営で他の団との交流もあり、人間関係として非常に良い体験が出来たなと思いました。



そなえよつねに

伊豆地区 三島第3団 ボーイ隊 隊長 土山 祐之

毎年8月に開催される団キャンプ。今年も海を利用した活動的なプログラムやカブ隊との合同集会、世界ジャンボリーに参加したベンチャースカウト(かつての班長・次長でもある)からの熱いメッセージ、そして自由な班活動など、どの場面でもスカウトたちは全力で取り組み、夜の9時半には爆睡しています(夜は寝る、が三島第3団BS隊の鉄則。体力回復が最優先)。

そんな団キャンプで、3合の米を地面にこぼすという予期せぬ大イベントが発生しました。しかも、時間の限られている炊事時間に。どうするのかな?と見ていたところ、班長が指示を出して米を拾う人、炊事をする人に役割分担しています。さすが班長!

それでも、3合分の米粒は短時間で拾いきれるものではありません。刻一刻と炊事時間のリミットが近付きます。焦る班長、そんな班長の気も知らぬ班員たち。バツの悪そうなこぼしたスカウト。遠くから気を揉む指導者たち…。

結局どうしたのかは内緒です。皆さんも考えてみてください。想定外の出来事が起こったとき、どのように行動するのか。まさに「そなえよつねに」を試された夏の一コマでした。



4年ぶりの初倉まつり

島田地区 島田第4団 団委員 大関 悦子

10月15日(日)朝からあいにくの雨でしたが、地元の初倉まつりが、JA大井川初倉支店にて4年ぶりに開催されました。島田第4団は、団委員長はじめ各隊長・副長、スカウト、保護者、ほぼ全員総出で出店しま

した。パチンコゲーム、空き缶積み上げゲーム(この日の最高記録はなんと18缶)、飲み物販売、緑の羽根募金に加えて、会員増強のためのPRも行いました。「緑の羽根募金にご協力お願いしまーす」「ありがとうございましたー」スカウトたちが笑顔で叫ぶと、やはり笑顔で快く協力して下さる地元の皆様、いつもボーイスカウトを温かく見守って下さり、感謝致します。

思えば、この4年間は、コロナ、猛暑、天候不順で、活動が大幅に制限され、18NSJ静岡大会が直前で中止になる等スカウト達は、ずい分と我慢や悔しさを味わってきたことでしょう。しかし、その分だけ忍耐力や判断力がつき、体も大きくなり、たくましくなっていると思います。4年前はまだビーバースカウトだったあの子どもこの子ども、今では立派なボーイスカウトになろうとしています。

これからも彼らの成長を楽しみに、微力ながら、出来る事を続けていきたいです。



弾いていたバンジョーの練習も始めました。ボーイスカウト歌集に載っているアメリカ民謡的な曲、バンジョーの楽譜をネットで探しますと弾き方の動画付で沢山見つかりました。そんな折、地区の会議で『なつかしの野营地』を歌いました。それから数日後にYoutubeで検索をしていると『Carry me back to old virginny』という曲に巡り会いました。何処かで聞いたことがあるメロディーだな、思いましたらなんと『なつかしの野营地』のメロディーそのものでした。この曲を採譜されボーイスカウトの心を揺さぶるような歌詞をつけられたのが尾崎先達です。

そこでオリジナルの曲について調べてみますと、アメリカ系アメリカ人の作曲家J・A・ブランドが1911年頃に書いた曲で、1940～1997年まで歌詞を一部変更しヴァージニア州の州歌として採用されていた曲でした。歌詞を訳しますと『黒いぼくは、どうしてもそこに帰りたい。そこでは年老いたご主人のため一所懸命に働いた、来る日も来る日も黄色い麦畑で、ぼくが生まれたヴァージニア州ほど心から愛する土地はこの世にはない』と黒人奴隷(今では使ってはいけない単語かも)の歌でした。1870年生まれ尾崎先達はこの曲をリアルタイムで聞き、採譜されたと思います。美しいメロディーですがどうしてこんなつらい歌詞の歌に、私達スカウトの心を驚かすような歌詞を付け、『なつかしの野营地』という名曲が生まれたのか伺いたいと感じる今日この頃です。しかしそれは無理な事なので今はスカウト活動の中でこの素晴らしい歌をみんなとしっかり歌い、日本連盟初代エールマスターの尾崎先達の事も伝えていきたいと思っています。

『なつかしの野营地』、尾崎先達に聞いたかった事

富士地区 富士第10団 団委員 影山 幸彦

私、先輩の中山団委員長から紹介されたことが縁でアメリカ音楽ブルーグラスを良く聞きます。最近では仕事も一段落し、時間も出来たことから40年以上前に

友情章

おめでとう!! 19名の仲間が友情章を授与されました。

「友情章」は、君の友達に「スカウトになろうよ!」と言って、友達がスカウトに入るともらえる章です。記念品はネームプレートがもらえるよ。次は君が友達を紹介して「友情章」をゲットしよう!

令和5年11月度「友情章」顕彰者名簿

組織拡充・地域連携委員会

氏名	地区	所属	氏名	地区	所属
松本 煉	伊豆	三島第5団 B S 隊	望月 湊太	静岡	静岡第22団 BVS 隊
田代 彩純	御殿場・小山	小山第4団 C S 隊	山田 慧悟	静岡	静岡第27団 C S 隊
廣田 紗也	御殿場・小山	小山第4団 C S 隊	中川 龍矢	島田	島田第2団 C S 隊
宇根山布羽人	御殿場・小山	小山第4団 C S 隊	金刺 直忠	島田	島田第4団 B S 隊
湯山 心咲	御殿場・小山	小山第4団 BVS 隊	金刺 岳	島田	島田第4団 C S 隊
湯山 麦	御殿場・小山	小山第4団 BVS 隊	大橋 拓海	浜松東	浜松第6団 BVS 隊
宇根山己羽音	御殿場・小山	小山第4団 BVS 隊	丹野 文之信	浜松東	浜松第24団 C S 隊
宮下 俊太郎	富士宮	富士宮第25団 C S 隊	森 琉翔	浜松東	浜松第30団 BVS 隊
瀧澤 瑛生	静岡	静岡第22団 BVS 隊	杉山 碧	浜松東	浜松第30団 BVS 隊
小野田幸士郎	静岡	静岡第22団 BVS 隊			

ボーイスカウト運動にご支援くださった皆様です。令和5年6月～11月

【日本連盟維持会員名簿】

瀧島 三郎
 宗教法人 世界救世教
 土山 和雅
 吉川 雄二
 山本 真一
 竹内 良訓
 鈴木 隆春
 山崎 茂樹
 金森 啓二
 田中 實
 影山 幸彦

池谷 千幸
 田代 隆昭
 富田 三代治
 永田 遯児
 深津 智重
 富山 貞男
 大石 稔
 上條 猛
 渡邊 聡
 山本 知佐子
 花畑 金亨
 村松 武博

高橋 謙一
 土山 惟之
 杉山 満
 勝又 啓子
 舘 正義
 B S 静岡地区
 村松 清一
 勝俣 昇
 段原 良昭
 戸田 正明
 大須賀 和美
 渡辺 周

(株)エフ・シー・エス
 西村 清矢
 鈴木 均
 太田 浩三郎
 B S 磐田地区
 高村 賢一
 鈴木 典江
 池谷 大輔
 山城 厚生
 川島 一郎
 和田 篤夫
 鈴木 孝治

大山 正晃
 大澤 晶
 前田 左近
 熊谷 美千雄
 【マンスリー維持会員】
 杉山 邦宏
 近藤 由美子
 城戸 勝英
 八巻 知子
 高崎 浩太郎

【静岡県連盟賛助会員】

宗教法人 世界救世教
 50,000円
 村松 武博
 40,000円
 戸田 正明
 5,000円
 花畑 金亨
 5,000円
 瀧島 三郎
 5,000円



マスコミコーナー

マスコミ(新聞・雑誌)に掲載された“スカウト活動の記事”を紹介します。

各地区・団で、新聞又は雑誌などに掲載された記事がありましたらご応募下さい。詳しくは県連事務局まで



令和5年12月6日 静岡新聞 掲載



令和5年11月15日 静岡新聞 掲載



令和5年10月11日 静岡新聞 掲載



令和5年12月9日 静岡新聞 掲載



令和5年10月23日 熱海新聞 掲載



令和5年11月15日 中日新聞 掲載



令和5年10月24日 伊豆日日新聞 掲載



令和5年10月24日 伊豆新聞 掲載

おしらせコーナー

《 定型訓練 》

ボーイスカウト講習会 静岡第637回 沼駿地区

- 日 時:令和6年1月28日(日)
- 場 所:長泉文化センター
ベルフォーレ
- 申込み:令和6年
1月7日(日)まで

ボーイスカウト講習会 静岡第638回 富士地区

- 日 時:令和6年3月10日(日)
- 場 所:富士市教育プラザ
- 申込み:令和6年
2月25日(日)まで

ボーイスカウト講習会 静岡第639回 静岡地区

- 日 時:令和6年3月10日(日)
- 場 所:静岡県青少年会館
- 申込み:令和6年
2月25日(日)まで

《 定型外訓練 》

トレーナー 研究集会 日本連盟ディレクター チーム主催

- 日 時:令和6年2月4日(日)
- 場 所:静岡県青少年会館

令和6年度 ボーイスカウト 講習会主任合同

- 日 時:令和6年2月11日(日)
- 場 所:あざれあ

県連盟 トレーニングチーム員 養成研修会

- 日 時:令和6年
3月9日(土)~10日(日)
- 場 所:常安寺(島田市)
- 申込み:令和6年
2月24日(土)まで

《3TCベンチャー大会予定申込締切》

- 日 時:令和6年1月20日(土) ●提出先:地区経由 県連盟事務局
- 3TC会期:令和6年8月2日(金)~8月7日(水)
- 3TC会場:岐阜県高山市位山交流広場 (旧)モンデウス飛騨位山スノーパーク

ボーイスカウトへのお問い合わせ・入隊希望は

ボーイスカウト静岡県連盟事務局 (☎054-255-6185) まで

ホームページもご覧ください。http://bs-shizuoka.com

編集 日記

昨年の韓国で開催された世界スカウトジャンボリーは思い出に残る大会となりました。各地区の団・隊の活動は秋のキャンプ、地区大会、わくわく自然体験、スカウト募集活動とコロナ以前に戻って参りました。本年8月には第3回東海4県連盟合同野営大会(3TCベンチャー大会)が開催されます。2024年もモチベーションを高く持ち、充実したスカウト活動を行っていきましょう。また皆様からのご意見・情報及び取材依頼がありましたら県連事務局までお寄せ下さいますようお願いいたします。

広報「たちばな」編集部 杉山文朗

広 報 “たちばな” 2024年1月
発 行 所 一般社団法人 日本ボーイスカウト静岡県連盟
〒420-0068 静岡県静岡市葵区田町 1-70-1
県青少年会館内
TEL054-255-6185 FAX054-255-6186
http://bs-shizuoka.com
編集責任者 総務・広報委員長 南條 順子
印 刷 三富印刷株式会社
静岡県浜松市中央区上新屋町30-1 TEL053-467-4678
発行部数 2,860部